

みと発! 知るほどナルホド! ごみ情報紙

ご自由にお取りください!



編集: 水戸市ごみ減量課

電話: 029-232-9114

水戸市 **11%** 減量!!



ねこ山

ねえリサイクリン! 水戸市で11%減量って書いてあるけど、何のこと? リサイクリンやせた?

そうなの、リサイクルに忙しくて・・・って違うワ!

減ったのは、水戸市の **燃えるごみの量**。

令和元年度は約 94,529 トンだった燃えるごみが、令和2年度は約 84,072 トンと **約 11%** も減ったノ。

水戸市ごみ減量イメージキャラクター
リサイクリン

何でそんなに減ったんだろう?

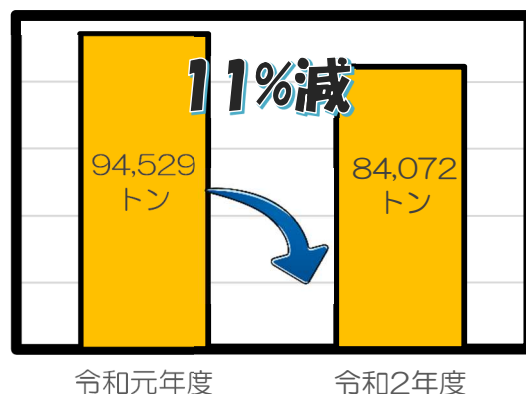
これまで**燃えるごみ**として収集していたプラスチック製容器包装を、令和2年度から**資源物**として収集するようになったことが、理由の一つだと思うワ!

その他にも、紙・布類などの収集量が増えているから、きちんと分別されることによって、燃えるごみに混ざっていた紙・布類が減ったんじゃないかしら!

これも、普段からごみを減らそうと頑張っている皆さんの努力のおかげです!



水戸市の燃えるごみの量





表面からの続き

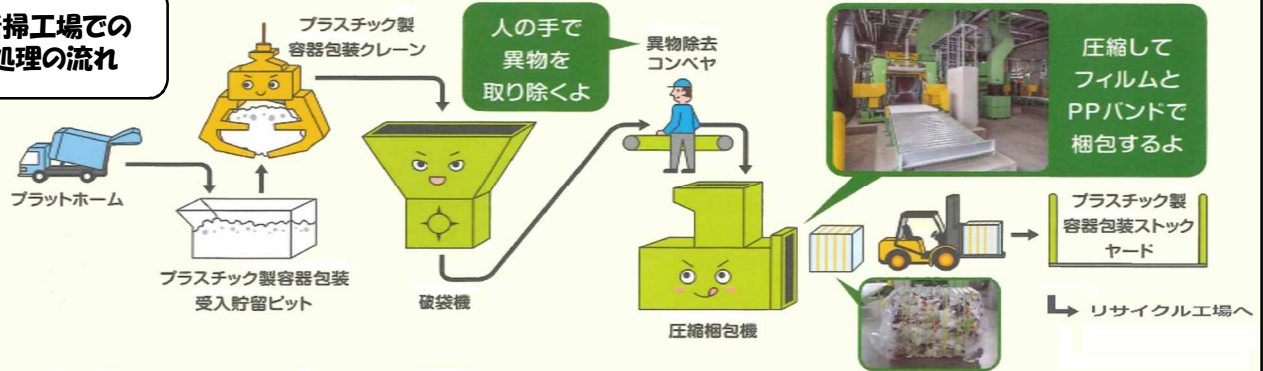


なるほど! 分別って大切なんだね。ところで、集積所に出したプラスチック製容器包装ってその後どうなるの?

プラスチック製容器包装は、まず、水戸市の清掃工場で異物などが取り除かれてから、圧縮・梱包される。その後、別のリサイクル工場に運ばれて、新しくプラスチック製品に生まれ変わったり、化学製品の原料として使われたりしているのヨ。



清掃工場での処理の流れ



清掃工場では、この他にも燃えるごみや燃えないごみ、その他の資源物などが処理されている。工場見学も行っているから、興味がある人は、清掃工場を運営している水戸環境テクノロジー（電話番号：029-350-4431）に申し込んでネ！（HP：<https://mito.ekankyo21.com/>）



そうなんだ! ごみの歴史

history

日本でごみ処理のシステムが作られたのは、いったいいつ頃でしょうか?



答えは、江戸時代!



江戸時代の初期には、ごみは空き地や川などへ捨てられており、悪臭などが社会問題となっていました。そこで、奉行所はごみの投棄を禁じ、深川永代浦（現在の江東区富岡八幡宮あたり）をごみ処理場に指定しました。さらにごみの処理業者も指定することで、一定の場所に集められたごみを処理業者が処分するという、現代に近い形のごみ処理システムが構築されました。

編集後記

今回、初めて本紙の作成を担当しました。これからも、様々な機会を通して、ごみやリサイクルに関する情報を発信していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

それにしても、燃えるごみが11%も減るってすごいですね! 市民の皆さんのごみに対する意識の高さをしみじみと感じました。これからもごみの減量に取り組んで、全国にさがける水戸市となれるように一緒に頑張っていきましょう! (ねこ山)